

座標平面において、点  $(\sqrt{3}, 0)$  を中心とする半径  $r$  の円を  $C$  とする。直線  $y = \frac{x}{\sqrt{3}}$  に関して  $C$  と対称である円を  $C'$  とする。 $C$  と  $C'$  が外接するとき、 $r =$   であり、 $C'$  の中心の座標は  である。

(26 立教大 理系 2 月 9 日 1(5))

キ	ク
$\frac{\sqrt{3}}{2}$	$\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{2}\right)$

【解答】

$C'$  は直線  $y = \frac{x}{\sqrt{3}}$  に関して円  $C$  と対称な円であり、 $C$  と  $C'$  は外接するから、 $C$  と  $C'$  は直線  $l: y = \frac{x}{\sqrt{3}}$  に接している。

$C$  の半径  $r$  は  $C$  の中心  $A(\sqrt{3}, 0)$  と直線  $l: x - \sqrt{3}y = 0$  の距離に等しいから

$$r = \frac{|\sqrt{3} - \sqrt{3} \cdot 0|}{\sqrt{1^2 + (-\sqrt{3})^2}} = \frac{\sqrt{3}}{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

$C'$  の中心  $A'(a, b)$  は  $A(\sqrt{3}, 0)$  の直線  $l$  に関する対称点であるから

線分  $AA'$  の中点は直線  $l$  上にあり、直線  $AA'$  と直線  $l$  は直交する

$$\Leftrightarrow \begin{cases} \frac{a + \sqrt{3}}{2} - \sqrt{3} \cdot \frac{b + 0}{2} = 0 \\ \frac{b - 0}{a - \sqrt{3}} \cdot \frac{1}{\sqrt{3}} = -1 \end{cases} \Leftrightarrow \begin{cases} a - \sqrt{3}b = -\sqrt{3} \\ b = -\sqrt{3}(a - \sqrt{3}) \\ a - \sqrt{3} \neq 0 \end{cases}$$

$$\therefore a - \sqrt{3}\{-\sqrt{3}(a - \sqrt{3})\} = -\sqrt{3}$$

$$a + 3(a - \sqrt{3}) = -\sqrt{3} \quad \therefore a = \frac{2\sqrt{3}}{4} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\therefore b = -\sqrt{3}\left(\frac{\sqrt{3}}{2} - \sqrt{3}\right) = \frac{3}{2}$$

よって、 $C'$  の中心の座標は  $\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{2}\right)$  である。

.....(答)

- 線分  $AA'$  の中点を  $M$  とおくと

$$\begin{aligned} \vec{OA'} &= \vec{OA} + \vec{AA'} = \vec{OA} + 2\vec{AM} \\ &= \vec{OA} + 2(\vec{OM} - \vec{OA}) = 2\vec{OM} - \vec{OA} \\ &= 2 \frac{\vec{OA} \cdot \vec{\ell}}{|\vec{\ell}|^2} \vec{\ell} - \vec{OA} \end{aligned}$$

( $\because \vec{OM}$  は  $\vec{OA}$  の  $\vec{\ell}$  への正射影ベクトル、 $\vec{\ell} = (\sqrt{3}, 1)$  とした)

$$= 2 \times \frac{3+0}{3+1} (\sqrt{3}, 1) - (\sqrt{3}, 0)$$

$$= \left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{2}\right)$$

である。よって、 $C'$  の中心の座標は  $\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{3}{2}\right)$  である。

